



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月29日

上場会社名 株式会社 クレオ 上場取引所 東
コード番号 9698 URL <https://www.creo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿崎 淳一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鳥屋 和彦 TEL 03-5783-3560
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,393	△1.7	555	△22.9	574	△21.3	375	△22.1
2024年3月期第3四半期	10,568	△0.8	721	32.6	730	33.7	482	49.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 376百万円 (△21.9%) 2024年3月期第3四半期 482百万円 (57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	47.94	—
2024年3月期第3四半期	60.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,560	7,013	73.4
2024年3月期	10,057	7,296	72.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,013百万円 2024年3月期 7,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	51.00	51.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	4.5	1,140	5.1	1,145	4.1	790	10.1	100.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	8,585,688株	2024年3月期	8,585,688株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	850,295株	2024年3月期	635,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	7,837,990株	2024年3月期3Q	7,947,783株

(注) 当社は「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2025年1月29日(水)にTDnet「適時開示情報閲覧サービス」及び当社Webサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間は、コロナ禍からの脱却が進み、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いております。一方で地政学リスクの高まりによる資源、材料価格の高騰等、依然として先行き不透明感が強い状況が続いております。なお、当社グループが属するICTサービス市場においては、社会における働き方の変化、人材を人的資本と捉える流れの中で引き続き顧客企業等の需要が堅調な状態にあるものと認識しております。

このような状況の中、当社グループは中長期の経営ビジョンである「VISION2030 持続的成長への変革と創造」と当年度2025年3月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定し、最終年度である2027年3月期に売上高180億円、営業利益15億円、営業利益率8.3%、ROE12%超を目指し、同計画においても引き続きソリューションサービス事業を成長事業と位置づけ、ストックビジネスの拡充や人材の強化を推進し、グループ全体ではグループ総合力の強化、投資の拡大などに注力することで持続的成長に向けた事業基盤の再構築に尽力してまいります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの状況は、売上高は前年同期比で1億74百万円減少、営業利益は前年同期比で1億65百万円減少となりました。経常利益は前年同期比で1億56百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で1億6百万円減少となりました。

以上の結果、売上高103億93百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益5億55百万円（前年同期比22.9%減）、経常利益5億74百万円（前年同期比21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億75百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

※セグメント別の経営成績につきましては、「2025年3月期 第3四半期 決算補足説明資料」をご覧ください。

<https://www.creo.co.jp/ir/ir-library/financial-results/>

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億14百万円の減少となりました。

これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、16百万円の増加となりました。

これは主として、有形固定資産が減少した一方で、ソフトウェア仮勘定が増加したことによるものです。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億36百万円の減少となりました。

これは主として、その他流動負債が増加した一方で、賞与引当金が減少したことによるものです。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、21百万円の増加となりました。

これは主として、株式給付引当金が増加したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億82百万円の減少となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、自己株式の取得及び配当金の支払いがあったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2024年5月8日付「2024年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の各連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

当社グループの多くの事業セグメントは、売上高及び利益が第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に特に集中する傾向があります。両連結会計期間における売上高及び利益計上が計画通りに推移しない場合、連結業績予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

個別の事業セグメントに関する固有のリスクについては下記の通りです。

ソリューションサービス事業については、受注案件規模が大型化する傾向にあり、受注、検収の時期がずれ込む場合や、プロジェクトの不採算化が生じた場合などには予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

受託開発事業については、事業の性質上連結会計年度末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が次期にずれ込む可能性があります。また、当社の主要顧客である大手ITベンダーがシステムのユーザーである官公庁、企業などから計画通りの受注を行えない場合には、当社に対する発注が行われず、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,584	5,425
受取手形、売掛金及び契約資産	2,396	1,905
商品及び製品	11	10
仕掛品	297	441
その他	184	176
流動資産合計	8,474	7,959
固定資産		
有形固定資産	256	247
無形固定資産		
ソフトウェア	485	429
ソフトウェア仮勘定	48	127
その他	0	0
無形固定資産合計	533	557
投資その他の資産		
投資有価証券	144	143
繰延税金資産	310	310
その他	338	341
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	793	794
固定資産合計	1,583	1,600
資産合計	10,057	9,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	501	422
未払金	333	365
未払法人税等	122	115
賞与引当金	530	265
プロジェクト損失引当金	173	173
その他	878	962
流動負債合計	2,542	2,305
固定負債		
株式給付引当金	116	138
資産除去債務	98	100
その他	4	1
固定負債合計	219	240
負債合計	2,761	2,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	698	698
利益剰余金	4,141	4,100
自己株式	△697	△939
株主資本合計	7,292	7,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	4
その他の包括利益累計額合計	3	4
純資産合計	7,296	7,013
負債純資産合計	10,057	9,560

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
売上高	10,568	10,393
売上原価	8,124	8,043
売上総利益	2,443	2,350
販売費及び一般管理費	1,722	1,794
営業利益	721	555
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	0	3
助成金収入	7	12
その他	4	7
営業外収益合計	12	23
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	1	1
支払手数料	—	2
為替差損	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	2	4
経常利益	730	574
特別利益		
貸倒引当金戻入益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	1	—
ソフトウェア評価損	16	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	715	574
法人税等合計	233	199
四半期純利益	482	375
親会社株主に帰属する四半期純利益	482	375

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	482	375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	482	376
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	482	376
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,470	2,153	1,537	3,406	10,567	0	10,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	7	20	349	382	—	382
計	3,474	2,161	1,558	3,755	10,950	0	10,950
セグメント利益	486	479	164	265	1,395	0	1,395

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、本社等の売上を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395
全社費用及び利益(注)	△674
四半期連結損益計算書の営業利益	721

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、経営指導料及び研究開発に付随する収入等であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,529	2,106	1,493	3,263	10,393	—	10,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	13	43	326	387	—	387
計	3,533	2,119	1,537	3,590	10,781	—	10,781
セグメント利益	479	362	209	200	1,253	—	1,253

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,253
全社費用及び利益（注）	△697
四半期連結損益計算書の営業利益	555

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、経営指導料及び研究開発に付随する収入等であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年5月8日及び2024年8月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式220,000株の取得を行いました。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が242百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が939百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	206百万円	186百万円